

江の島オリンピックウィーク 2009 Day 2 - October 17

Enoshima Olympic Week 2009 – Report in English, see below the Japanese report.

北風が吹いている間に艇、10時スタート予定で海へ出ましたが、予想よりも早く陸からの北風はなくなってしまい、しばらく海上待機をしたものの、本部船にはA P・H旗があがり、全艇ハーバーへ戻りました。12時半に回答旗がおり、再び海へでましたが、南西からの風は少しずつ南へふれながら弱まり、今日もトラピーズにのらずに2レースが行われました。



今日は、阿部・元吉組（山口県セーリング連盟・Orbit）が2レースともトップの快進撃で、軽風でのスピードに自信の走りができていました。また、女子の吉迫・大熊組（ベネッセ）も得意の風域で、昨日よりも安定した走りですべて5-2とまとめました。

R1はマレーシアのアリ・ハキミ組が1上マークをトップで回りました。来年11月に中国で開催されるアジア大会を目標に強化を始めたチームで、強くなるために日本のレースにきました。コーチのアンドリュー・ブラウンはニュージーランドのアテネ五輪代表で、長期計画で指導をしています。

このレース、トップでフィニッシュしたのは近藤・田畑組でしたが、残念ながらリコールでした。トップチームは1上で崩していることもあります、ダウンウィンドでスピードをとめずに走り、おいあげてきます。大学生チームに特に見てほしいのは、落としの角度と、スピードのつけ方です。慣れないチームはとかくのぼりすぎで、落とせるタイミングを逃して、長い距離を走ってしまいがちですが、トップチームは最初のパフで、きちんとおとして、マークへ近づけるとか、マークから離れるタックになると最初の機会にジャイブして寄せていくことを実行しています。中盤で混雑している時には、自分が走れる場所を確保することも大切でし

よう。R2は途中まで吉迫組がトップでしたが、2上の手前で、それまできっちりカバーしていた阿部・元吉組から離れてしまい、ポートでマークに向かったときに、スターボードアプローチしてきた阿部組から「スリーポート！」と、ゾーンの中で下受けするなとけん制されてしまい、スターンをなめていく結果となりました。阿部組がそのまま逃げ切り、吉迫組は原田・吉田組（アビーム）の追い上げをかわしてフィニッシュしました。

今日からレースが始まったレーザーは5艇の参加艇ですが、ラジアル、シーホッパーSRといっしょに「シングルハンドクラス」としてスタートし、フィニッシュ時間とタイムリミットはクラス

別にするという流れです。艇数こそ少ないもの、五十嵐、鈴木が同点、城が1点差という三つ巴です。続くラジアルは浜名湖から参加の北村、SRは神奈川ユースの角野がリードしています。

レース後、パーティーが開催され、地元のフラダンスの披露あり、NT選手と招待選手のイスラエルチームに質問コーナー、スポンサーギフト抽選などなど、手作りのローストビーフやとん汁もふるまわれ、海外の選手との交流の時間がもてました。印象に残った質問は、「どうしたらNTに入れますか？」で、エース原田の答えは「アビームは練習あるのみ、とにかく練習することで





す。」と、いうことでした。「好きな人はだれですか？」に、イスラエルクルーのウディは、「スキッパーのジディ」と笑っていました。

明日は最終日。風はまたまた弱目かもしれませんが、上位は僅差で勝負です。13:55を超えてのスタートはありませんが、最大で4レースができます。こなせるだけ、レースをする予定です。

Day 2 – The race committee planned to have 1 race in the land breeze, and then wait for the south-west gradient flow later on. However, the north-east wind stopped before the 10 o'clock start, so

everyone went out to the racing area, and came back ashore to wait until 12:30.

Razman and Ahomad - MAS 1 rounded top mark 1st for the R3, but Ai Kondo and Wakako Tabata overtook them on the run. They managed to cross the finish line first, only to find that they were OCS. That made Abe/Motoyoshi winning the R3, and they continued their form to win the R4 as well. It was a difficult condition, but Abe seemed to know when to tack into the gust.



Maeda/Taniguchi is still leading overall. For them, 1st upwind work is not easy today. However, they managed to pick up few boats each leg, and always found good pressure on the run. Harada/Yoshida also had difficulties on the upwind leg. They seemed to sail deeper downwind without losing much speed. Their feel for the boatspeed is good in light air, and they bear away earlier than the boats around. They also ruff up earlier to increase speed.

5 Lasers entered, and all single handed classes are starting at the same time – 4 Radials and 3 Seahopper SR. Both Igarashi and Suzuki are equal point, and Jo is only 1 point behind. Jo and Suzuki had a good jybing match during the 2nd run.

After races today, Regatta party was organized. Local Fla dance group joined to show different dances. And Udi and Gidi joined Japanese National team members to Q&A by the local University students. Gidi was asked why Yuka Yoshisako sail fast in the light condition, and Udi was asked `who is his favorite person.` etc. Roast beef and Tonjiru (Port and vegetable soup). Let's hope more breeze tomorrow.